

会 議 録

会議の名称	第 1 回（仮称）第二次小牧市企業新展開支援プログラム策定検討委員会				
開催日時	令和元年 1 0 月 2 日（水） 午後 3 時～午後 4 時 4 5 分				
開催場所	小牧市役所本庁舎 2 0 2 会議室				
出席者及び欠席者	【委員】 ○出席者 清水真（中部大学 教授） 鈴木義久（東春信用金庫 理事長） 長谷川雅彦（株式会社ベルカンパニー 代表取締役） 速水昭典（小牧商工会議所 専務理事） 秦野利基（株式会社竹藤商店 代表取締役） 中村公彦（株式会社大京化学 代表取締役） 尾関雅俊（こまき新産業振興センター センター長） 小塚智也（市長公室長） 小林直浩（地域活性化営業部長） 【事務局】 竹内隆正（地域活性化営業部次長） 加藤吉宏（商工振興課長） 久田雅樹（商工振興課長補佐） 関戸一憲（商工振興課）				
傍聴の可否	☒ 可 ☐ 否	傍聴定員	3 名	傍聴人数	0 名
会議次第	1 小牧市企業新展開プログラムの改訂について 2 補助金活用アンケートの実施状況について 3 車座会議の実施状況について 4 小牧市の現状と課題について 5 その他				
問合せ先	小牧市役所 地域活性化営業部 商工振興課				
会議内容	別紙 1 参照				

会 議 内 容
1 小牧市企業新展開プログラムの改訂について 事務局 資料に基づき事務局より説明。 委員長 資料 1, 2 について意見は無いようですので、次の議題に入ります。 2 補助金活用アンケートの実施状況について 事務局 資料に基づき事務局より説明。 委 員 資料 4 の 4 ページの「主な顧客・取引先の構成比」については合計が 100 パーセントになっていませんが、これは重複回答有りの設定ということでしょうか。 事務局 重複の回答を可としております。 委 員 なぜ重複可としたのですか。そのようにするとよくわからなくなってしまうと思います。 委 員 私の会社の場合は、全ての選択肢が該当しますので、特に違和感はないです。 委 員 わかりました。だとすると、この結果をどのように診ていけば良いのかわかりにくいと思いますね。また、今回は中間集計ということですので最終集計も資料として出してほしいと思いますし、9 ページの効果が 1 や 2 の場合はどのように捉えれば良いかわかりにくいです。全く効果がなかったのか、少なからず効果があったのか。 あと、27・28 ページの企業の数足を足すと 278 社となっていますので 272 社から回答があったという 1 ページの資料に比べてダブっている会社があるのではないかという疑問が出てきます。そのあたりを最終の資料という形で整理してもらえると助かります。 事務局 数点ご指摘をいただきました。第 2 回の会議までにはこのデータをわかりやすい形になるように努めていきたいと思っています。ありがとうございました。 委 員 29 ページの意見は、アンケートを回答した企業の意見ということでしょうか。

事務局 その通りです。

委員 そうであれば、このような意見が 1 番ポイントだと思います。この課題をどのように解決していくかということが本筋であって、数字の部分は一つの参考資料だと思うので、このような意見の分析をして何か対策をつくるのが今回の会議の目的だと感じました。

委員長 その他に意見も無いようですので、次の議題に入りたいと思います。

3 車座会議の実施状況について

事務局 資料に基づき事務局より説明。

委員長 資料 5 について意見は無いようですので、次の議題に入ります。

4 小牧市の現状と課題について

事務局 資料に基づき事務局より説明。

委員 14 ページから 17 ページまでの予算の関係が出ておりましたがこれは何の資料ですか。

事務局 この資料は実施計画と言いまして、実際の予算額とは別のものとなっていますが、今後 3 年間に各課が取り組むべき事業について定めているもので、ここに掲載されている予算はその目安ということです。

委員 私はこの資料にこの内容を掲載する意味がわかりません。各事業を実施するにあたって予算は絡みますが、今後はこの額に縛られるということはないという理解で良いですね。

事務局 縛られるものではありません。

委員 いままでの資料を確認させてもらっていて、例えば人材不足の課題等が上げられていますが、そういった課題は特にここ数年で大きくなっていることがありますので、プログラムに掲載する資料も最新のものを掲載してもらえると良いと思います。

事務局 現在掲載している資料はどれも最新のものになりますが、今後新たに更新される資料については、差替えていきたいと思います。

委員 プログラムの改訂を進めていくなかで、現状の制度について良し悪しを議論することになると思います。そうなった時に予算の上限の金額等を加味しなければならないのか、そうでないのかを整理して教え

てもらえるとありがたいです。

委 員 ここに掲載されている実施計画はあくまで計画であって、実際の予算措置はこれからになってきます。今後このプログラムの改訂が進み新しいプログラムが出来たあかつきには、予算に反映させてもらうように財政当局と調整する形になります。その中でトータルの予算の壁はあるかと思いますが、充当すべき所はすべきという議論を皆様とさせていただきたいと思いますので、予算については縛られるものではないという認識で大丈夫です。

委 員 実施計画は、指針として3ヶ年の主な事業と事業費をお示しするものですが、この計画も毎年見直していますので、今回の資料に掲載されている計画はあくまでも現時点での見通しであります。

委 員 まちづくり推進計画の策定がずっと延長されていますが、市の産業振興ビジョンや、現行のプログラムの「はじめに」に記載されている内容は、どこの自治体にも言えることだと思います。

国の助成制度、県の助成制度がある中で、小牧市を頼ってくる事業者に対して小牧市はどのような方向を目指すのかということを明確にしていけないと力の入れどころがわからないと思います。ですので、資料としてそこらへんをまとめていただき、「まちづくり推進計画」の策定の途中経過の情報をいただけると意見を言いやすいと感じました。

委 員 今回は第1回目ということで、現状を認識していただくという意味で資料を出させていただきました。それを踏まえて次回は現行のプログラムの検証結果を発表させていただきます。そこには、予算をもっとつけるべきだったとか、課題があったにもかかわらず踏み込めなかったというところまで示した検証結果を用意できればと思っています。

今回の資料にもありますが、小牧市の企業の1事業者あたりの付加価値額は他の市町村と比べてあまり高くないというデータがあります。この原因は中小零細企業が多いことや、生産性の低い企業が多いことが上げられるかもしれません。こういったところに切り込んでいかないと次の展開に行けませんので、そのためには時間もかかりますが皆様とご議論いただければと思っています。ですので、小牧市としてどのような方向性にしていくかということを今後の検証の中で踏み込んでいけたらと思っています。

委 員 あと 4 回しかないので、次回はかなり具体的な小牧市の方向性を示してもらわないと議論が進まないと思います。

さらに、大企業、中企業、小企業とジャンル別に分けてそれぞれに対する支援策の情報を踏まえた上で、こういう小牧に 5 年間でなりたいというものを具体的に次回示してほしいと思いました。

委 員 あくまでも回数は概ねのもので、議論が深まれば会議の回数を増やすということもあるかと思います。その際にはご迷惑をおかけしますがよろしくお願いします。

今回皆様方に 1 番ご意見を伺いたいところが、現在約 30 の補助制度がありますが、今回のアンケートで補助内容がわからないという意見もあったことから、現在のプログラムが非常にわかりにくく出来ていてはどうかということが懸念事項としてあります。補助制度が多ければ良いという考え方もありますし、もう少し総合的な補助が良いという考え方もあります。そういったところまで踏み込んで議論できれば良いと思っています。

委 員 例えば、今回の資料で人材の課題が上げられていますが、人材といっても多種多様です。ただ単に「できる人が欲しい」では議論できなくて、もう少し掘り下げをしていく必要があると思います。

例えば、このようなスキルを持っている人といったように具体的に検証しないと、結局何かの勉強会に参加する助成金程度に終わってしまう気がしますし、それだとお金が勿体ないと思います。

ですので、このような検証ができると補助を受ける側の実意がはっきりしたものになってくると思います。

委 員 一概に人手不足といっても、大企業の人手不足と、中小零細企業の人手不足とは意味合いが違ってきます。小規模の事業所だと募集しても人が集まらないという意味合いに対して、中・大企業だと AI や IoT の技術を持っている人材の不足という意味ですので、規模別に整理しないと変な方向にいつてしまうと思います。

委 員 資料の中では、人材に対する課題が浮き彫りになっていますが、人を採用できないという声は日本中にありまして、その中には人材を採れない理由が色々ありますが、人材を採れない企業は限界もあると思います。そこで人材を採れないならば他の方法もあります。例えば、業務の一部を委託や統合するといった人材不足に対応する新たな動きも出て

きていますし、そこで新たな産業も生まれるといったこともありますので、そのような角度からの議論や提案もできたら良いなと思いました。

会 長 本日は4つの議事を進めさせていただきましたが、その他の意見は無いようですので、これで終了させていただきます。本日はありがとうございました。